

麦作情報

平成 31 年 3 月 27 日
滋賀県湖北農業農村振興事務所
(湖北農業普及指導センター)

**麦の生育は早まっています！
必要に応じて実肥を施用しましょう！**

○生育状況

1月中旬以降、気温が高く推移しており、生育は平年より旺盛です。大麦・小麦ともに概ね5日程生育が平年より早くなっています。

今後の気象予測では、3月30日以降、平均気温が平年より高くなる可能性が高い見込みです。実肥施用・赤かび病防除については、今後の天候等を確認し、生育状況に注意して適期に実施してください。

(参考) 出穂日予測

品種	播種時期	出穂日予測
ファイバースノウ	10月中下旬	4月12日頃
農林61号	11月上旬	4月12日頃
ふくさやか	11月上旬	4月10日頃

○実肥

開花期に実肥を施用することにより、子実の充実による収量増加が見込めます。特に麦茶用大麦は高タンパク質が求められ、実肥施用が品質向上にとって重要な技術ポイントとなります。

【大麦】

◆時期 4月20日頃（出穂期の10日後）

◆施用量

	穂数	窒素成分 (kg/10a)
米原市・長浜地域 (旧長浜市)	多い(400本/m ² 以上)	4
	少ない(400本/m ² 以下)	2~3
長浜市(長浜地 域を除く)	多い(400本/m ² 以上)	2
	少ない(400本/m ² 以下)	0~2

【小麦】

◆時期 4月20日頃（出穂期の10日後）

◆施用量

	穂数	窒素成分 (kg/10a)
農林61号	多い(300本/m ² 以上)	3~4
	少ない(300本/m ² 以下)	2~3
ふくさやか	多い(300本/m ² 以上)	4
	少ない(300本/m ² 以下)	2~3

※現在、莖数が少なく葉色が淡い場合は、子実粒数（穎花数）を向上させるため、走り穂が出る直前の4月中旬頃に窒素成分で2kg/10aを追肥しましょう。

○赤かび病防除

開花期に赤かび病に感染すると、不稔や充実不足となり、減収の原因となります。開花始めに予防防除が必要です。防除時期が水稻の春作業と重なるため、計画的に実施しましょう。

【大麦】

◆時期 1回目 4月中下旬頃

2回目 1回目の1週間後

【小麦】

◆時期 4月中下旬

※雨が多い場合は、1週間後に2回目の防除を実施しましょう。